

## 大学入試合格体験記（国公立大学）

### 名古屋大学工学部（三好北中出身）

2年生の終わりに英語の先生から個別課題を指示され、苦手な英語の偏差値が春休み明けには20も上がっていた。数学では数Ⅲの複雑計算もペンを使わずに頭の中で瞬時にこなすトレーニングを勧められた。スピードアップはもちろん、解答作成と並行して頭の中で複数の指針を思い描くことができるようになり、E判定から一気に工学部内で一桁の順位まで上がった。

### 名古屋大学工学部（三好ヶ丘中出身）

センター試験はボーダー弱でしたが、自信のあった2次試験でしっかりと取り返すことが出来ました。自分の経験から言えることは、受験は団体戦だということです。周りに自分以上の成績のライバルがいました。そのライバルを目標にしていたため、モチベーションが下がることなく最後まで受験を戦い抜くことが出来ました。

### 国際教養大学 C 日程（名古屋市立扇台中出身）

国際教養大学のC日程はセンター・2次ともに英語のみの受験でした。過去問を解いて、自分の英作文を先生と自分でじっくり見直しました。英語は得意科目でしたが、合格によりあらためて自信をもつことができました。

### 名古屋大学工学部（東郷中出身）

中学時代から漠然と名古屋大学に行きたいという思いがあった。その為に面倒見がよく進学実績のある東郷高校に進学しました。1年生から授業外の余力者課題などの指導を頼んだことで、結果として学力もみるみるうちに上がっていきました。部活動と学習の両立は自己分析力と精神力があれば出来ると思います。

### 名古屋工業大学工学部（春木中出身）

英語は3年生の春休み頃から長文を使って入試対策をしました。積み重ねの教科なので計画的に早めに勉強を始めた方が良いです。数学は授業でクラスメイトと議論するために、予習段階で一問一問数時間考え抜いたことが良かったと思います。

### 名古屋工業大学工学部（豊明中出身）

センター対策は授業と補習のみで行い、自宅では2次対策に集中しました。赤本で分からない問題がある場合は、先生に聞けばその場で解説とアドバイスをしてもらえた。あとカラオケなどの気分転換も効果的でした。

### 名古屋工業大学工学部（名古屋市立扇台中出身）

数学は授業で扱っていた教材を中心に復習していました。ライバルと成績を比較して落ち込むこともありましたが、追いつこうと努力しました。受験対策は先生と一緒に考えながら効率よく準備をすることが出来ました。

### 愛知教育大学教育学部（春木中出身）

普段の授業内容に比べて2次試験は驚くほど簡単だった。ただしセンター試験は苦手教科を含めてしっかりと点を取れるように、かなり前から補習や自習で対策をしました。

### 静岡大学情報学部（沓掛中出身）

センター対策の補習は理系教科と英語など自分が使う科目を積極的に取りました。数学ではディベート授業のための問題集の取り組み方を工夫しました。間違ってもいいから答えを見ずに自分の考え方を発表することで、論理的思考力が身についたと思います。

### 三重大学人文学部（春木中出身）

理系ですが、経済学部と機械工学部に興味があったため、私立は両方とも受験しました。国公立大学志願の段階で経済学部に進もうと強く決心し、2次で使う英語と数学の勉強に取り組みました。センター試験は目標に大きく届かなかったのですが、最後までクラスメイトと勉強していたことで合格を勝ち取ることが出来ました。

### 三重大学工学部（三好中出身）

数学と英語は割と自信があったが、理科が苦手だった。特にセンター模試の化学であり得ないほどひどい点を取ってしまい、自分なりに対策を考えた。自分に合った参考書を買って基礎から固めたあとで、学校のセンター形式の演習で本番に対応できる力を身につけた。入試本番は自分にしてはよく出来たと思う。

### 三重大学人文学部（日進中出身）

模試の後は必ず重要な解答解説の部分を切り取ってノートにまとめ復習した。心が折れそうになったり、もう駄目だと落ち込むことがあったが、先生方からの暖かい後押しを受けたことで自分を奮い立たせることができた。

### 三重大学生物資源学部（春木中出身）

センター試験ではボーダーラインを大きく下回りました。しかし生物の先生に教わった内容がそのまま2次試験に出たことや、普段時間をかけていた数学が完璧に取れたことで合格を勝ち取ることが出来ました。

### 信州大学繊維学部（東郷中出身）

1,2年は部活で時間がなかったため、授業をしっかりと聞いてその授業の中で問題を解けるようにしていた。部活が夏前に終わった後も、周囲の人と比べて数ヶ月も受験勉強のスタートが遅れていたため、夏休みから必死にがんばった。

### 信州大学工学部（神の倉中出身）

何より授業が命だと思います。しっかりと日々の授業に取り組んでいたことで受験がだいぶ楽になりました。あまり成績の良くなかった物理は夏休みに徹底的に取り組み、あとは模試に合わせて学習方法の修正をしながら成績を伸ばしていきました。

### 信州大学工学部（日進西中出身）

塾に行っていなかったので教えてもらう場所は学校しかありませんでした。前日の夜に勉強して理解できなかったところを次の日先生に聞いて解決するというサイクルで成績を伸ばす

ことが出来ました。センターで点を取れなくても2次試験で満点を取れば合格です。最後まであきらめては駄目ですし、油断してもいけません。

#### 福井大学工学部（東郷中出身）

塾に行っていなかったので補習に出て内容を復習することで成績が伸びました。二年生の時には国公立は夢のまた夢だったが、こうして合格することできたのは担任の先生がしっかりとサポートしてくれたからだと思います。

#### 琉球大学農学部（東陵中出身）

化学の先生がとても頼りになりました。分からないことは先生のいる理科室に直接行き、納得するまで丁寧に教えてもらえました。教材は学校で使っているものを繰り返し解くことで十分だと思います。

#### 福井県立大学海洋生物資源学部（神の倉中出身）

生物は勉強をしている感覚は無かった。図録どころか問題集さえ私にとっては楽しみでしかなかった。生物を愛したら、生物が手をさしのべた。ついて行くとそこに大学があった。

#### 尾道市立大学経済情報学部（日進西中出身）

3年生の夏から本格的に受験にむけた英語の勉強を始めた。わからない問題があれば躊躇せず先生を頼る。放課後などを使って個別指導をしてもらったおかげで受験を乗り切ることが出来た。